

様式1 幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた数値目標・重要業績評価指標(KPI)

※「達成状況(平成27年度～令和2年度)」欄は、計画期間(平成27年度から令和2年度末まで)の数値目標等の達成状況(作成要領参照)

- 5: 目標値を達成
- 4: 目標値を80%以上達成
- 3: 目標値を60%以上80%未満達成
- 2: 目標値を40%以上60%未満達成
- 1: 目標値の40%未満

基本目標	数値目標・KPI		当初値	目標値	実績 (令和元年度)	実績 (令和2年度)	目標達成に向けて実施した内容 (令和2年度)	達成状況 (平成27年度～令和2年度)	今後の取組(問題点、課題を含む)	担当課
1 安定した雇用を創出する	目数 標値	市内従業者数	18,379人	19,100人	- (平成28年度調査結果 18,278人)	- 令和3年度経済センサス活動調査の結果待ち(速報は令和4年5月予定)	・中小企業に対して支援を行っている商工会へ、補助金を交付した。	4	・中小企業に対して支援を行っている商工会及び商工会経営指導員と連絡調整を密に行い、協力・支援を行う。	商工観光課
	K P I	幸手中央地区産業団地内における従業者数	-	700人	588人	652人	・幸手中央地区産業団地進出企業に対し、操業開始前に雇用促進奨励金等の説明をした。	4	・幸手中央地区産業団地進出企業の操業開始時期を把握し、市内在住者の雇用につながるよう依頼をする。また、企業と連携し、求人求職の支援事業を実施する。	商工観光課
	K P I	就労支援セミナー・相談会の実施回数	-	累計5回	国と共催 10回 (累計46回)	国と共催 4回 (累計50回)	・コロナ禍ではあったが、県及び国(ハローワーク)との共催で就職支援セミナーを行った。	5	・引き続き、県及び国と連携してセミナーや相談会を実施する。	商工観光課
	K P I	認定農業者数	23経営体	30経営体	30経営体	33経営体	・農業関係説明会等において、制度等の周知を行うとともに、個別相談や手続きに関する支援を行った。	5	・今後も農業関係説明会等において、制度等の周知を行うとともに、個別相談や手続きに関する支援を行っていく。	農業振興課
	K P I	特別栽培米作付面積	2,984a	3,350a	2,396a	2,081a	・戦略的作物推進事業補助金を交付した。 ・ふるさと納税の寄附者に、返礼品として特別栽培米を贈呈した。	4	・米価の減少が続くなか、飼料用米や餅粉米などへの移行が進むことが考えられる。 ・農業者に対する補助金の交付については、引き続き実施していく予定である。 ・幸手産米の知名度向上や販売促進に関することは、事業内容を精査する必要がある。	農業振興課

基本目標	数値目標・KPI		当初値	目標値	実績 (令和元年度)	実績 (令和2年度)	目標達成に向けて実施した内容 (令和2年度)	達成状況 (平成27年度 ～令和2年度)	今後の取組(問題点、課題を含む)	担当課
2 新しい人の流れをつくる	目数 標値	権現堂年間観光客数	188.5万人	195万人	207.9万人	50.8万人	・コロナ禍ではあったが、四季の花の外に、ひまわりを3万本植えるなどして、外出自粛によるストレスなどを緩和する取り組みがなされたので、情報発信を行った。	4	・コロナ禍による自粛の影響 ・桜まつり開催時の渋滞・駐車場対策 ・幸手駅利用者の対応及び臨時バスの運行対策	商工観光課
	K P I	観光協会ホームページアクセス数	59.8万件	65万件	76.2万件	22.8万件	・コロナ禍であったため、イベント中止情報や3密回避などの情報を発信した。	5	・コロナ禍、開花状況を発信できなかった。 ・利用者が求めている情報をタイムリーに発信する必要がある。	商工観光課
	K P I	東西自由通路及び幸手駅舎の整備進捗率	1.8%	100%	100%	100%	・令和元年度をもって全ての工事が完了したため、令和2年度には事業を実施していない。	5	・令和元年度をもって全ての工事が完了した。	まちづくり事業課
	K P I	幸手駅西口土地区画整理事業の整備進捗率	2.3%	33.6%	34.23%	38.23%	・幸手駅西口土地区画整理事業の啓発のため、「まちづくり物語」を作成し、権利者に進捗状況等を周知した。 ・区画道路等の整備により、移転となる建築物等の補償契約を行った。 ・区画道路等の整備により、移転となる建築物等の移転先の宅地造成工事を行った。 ・翌年度に補償対象となっている建築物等の調査積算を行い、補償交渉に向け準備した。	5	・住宅が比較的密集した既存市街地における土地区画整理事業であるため、多くの地権者の方が玉突き移転となり、事業進捗に時間を要する。 ・今後、西口停車場線の整備を優先して取り組んでいく。 ・令和3年度は、道路整備や宅地造成の対象となる土地の仮換地指定、建築物等の補償、工事を順次行う。	まちづくり事業課
	K P I	しあわせ3世代ファミリー定住支援事業の利用者	—	累計18人	7人 (累計45人)	8件 (累計53人)	・しあわせ3世代ファミリー定住支援事業補助金を交付した。	5	・申請人数が平成30年度から減少傾向であり、今後の事業内容及び、事業の周知について検討する必要がある。	政策課
	K P I	人口の社会動態の減少数	274人	137人	94人	186人	・幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の確認及び検証を実施した。	5	・社会動態の減少人数の増加となっているのは、転出人口の増より転入人口の減が著しいことが原因である。年度によって目標が達成できなかったこともあるため、定住促進と他自治体から幸手市を選んでもらうための施策を継続して行う必要がある。	政策課
	K P I	市ホームページの年間アクセス件数	178,696件	190,000件	618,906件	619,886件	・ゲートページに市を象徴する写真を配置した。 ・広報紙のWeb版のカラー化をした。 ・広報紙等の紙媒体による情報提供に加え、ホームページによる情報提供を徹底した。 ・ホームページへの積極的な情報掲載を行った。 ・情報提供体制を確保した。	5	・引き続き広報紙等の紙媒体による情報提供に加え、ホームページによる情報提供の徹底を行う。 ・各部署からの積極的な情報発信を図る。 ・情報発信力に差が出ないように、定着するまでのサポートが課題となっている。	秘書課

基本目標	数値目標・KPI		当初値	目標値	実績 (令和元年度)	実績 (令和2年度)	目標達成に向けて実施した内容 (令和2年度)	達成状況 (平成27年度 ～令和2年度)	今後の取組(問題点、課題を含む)	担当課
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	目 数 標 値	合計特殊出生率	1.06	1.21	0.97	— (令和3年度末公表 予定)	・合計特殊出生率を高め、人口の自然増を実現するため、結婚、妊娠出産、子育てに関する施策の充実を図った。 平成28年4月から子育て総合窓口を開設し、妊娠、出産、育児に関する相談を受け付け対応している。	1	・引き続き、結婚、妊娠出産、子育てに関する切れ目ないサービスを提供し、合計特殊出生率の上昇を目指していく。	こども支援課 (効果検証 :政策課)
	K P I	カップル成立数	—	累計21組	13組 (累計32組)	0組 (累計32組)	・令和2年度は結婚支援に係る協定を締結した3市3町による事業を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント実施には至らなかった。	5	・新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じ3市3町による事業を実施するとともに、「SAITAMA出会いサポートセンター」を活用し、若い世代の結婚の希望をかなえる機会を増やしていく。	政策課
	K P I	赤ちゃん訪問の実施率	94.5%	100%	94.7%	97.4%	・子育て総合窓口で母子健康手帳交付の面接時に、事業説明を実施し、出生連絡票(ハガキ)を配布した。 ・こども支援課への子ども医療費・児童手当申請時に出生連絡票を回収、説明した。 ・訪問担当者(母子保健推進員及び保健師)から電話し日程調整後、訪問を実施した。	4	・平成28年度新設した子育て総合窓口で母子手帳交付時の母子保健コーディネーターの面接による相談及び情報提供で事業説明を実施している。 感染予防に努め訪問を行っていることをアピールし、引き続き事業を推進していく。	健康増進課
	K P I	不妊治療助成申請者数	—	累計150組	30組 (累計133組)	25組 (累計158組)	・対象者が埼玉県不妊治療費助成事業申請者であるため、幸手保健所に依頼し確実に対象者に周知チラシを配布した。 ・市ホームページ・広報紙等にて随時周知を図っている。	5	・引き続き事業を推進し、経済的負担の軽減を図っていく。	健康増進課
	K P I	保育所待機児童	0人	0人	0人	0人	・平成28年4月に民間保育園2園を、平成31年4月に民間保育園1園を開設させ、保育の受け皿を拡大したことから、待機児童数は0人となった。	5	・保育の需要に応じて、私立幼稚園に認定こども園化を働きかけるなど、更なる保育の受け皿の拡大を図っていく。	こども支援課
	K P I	防災士資格を取得した保育士数	—	6人	1人 (累計11人)	0人 (累計11人)	・令和2年度末までに合計11人が取得した。	5	・様々な災害に対応した防災訓練を実施するなど、安心安全な保育環境の整備を図る。	こども支援課
	K P I	発達の気になる子に対応した加配保育士の配置	—	3人	3人	2人	・障害児クラスに保育士を手厚く配置した。(令和3年3月時点の加配状況)	5	・引き続き、発達の気になる児童に対応した保育士を配置するとともに、関係する課と連携していく。	こども支援課

基本目標	数値目標・KPI		当初値	目標値	実績 (令和元年度)	実績 (令和2年度)	目標達成に向けて実施した内容 (令和2年度)	達成状況 (平成27年度 ～令和2年度)	今後の取組(問題点、課題を含む)	担当課
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	KPI	保育の提供体制の整備	370人	463人	523人	523人	・平成31年4月に民間保育園1園が開園し、保育の提供体制を整備することができている。	5	・市内私立幼稚園に認定こども園化を働きかけるなど、更なる提供体制の拡大を図っていく。	こども支援課
	KPI	保育ステーションの設置数	—	1箇所	0箇所	0箇所	・第6次幸手市総合振興計画実施計画の査定で「事業内容、実施時期又は予算化について検討を要する事業」とされている。	1	・コロナ禍で保護者の働き方にも変化があったものと思われることから、それらも含め保育ステーション建設の方向性について検討する必要がある。	こども支援課
	KPI	放課後児童クラブ室の開設	7箇所	11箇所	11箇所	11箇所	・平成29年4月に吉田小学校及び八代小学校の2か所の放課後児童クラブを開設し、市内の全小学校に放課後児童クラブを設置することができている。	5	・今後は、利用児童数が多い児童クラブの運営が課題となる。	こども支援課
	KPI	さってアフタースクール開催回数	—	累計500回	450回 (累計2,287回)	418回 (累計2,705回)	コロナ禍による学校臨時休校により、開始時期が例年より1か月遅くなってしまった。しかし、実施可能な限りの回数を各学校で設定していただけるよう、コーディネーターや担当指導主事が学校を訪問して直接交渉にあたった。	5	新型コロナウイルス感染症による影響がある中では、感染症対策を講じたうえで適切に実施する必要がある。引き続き9校での実施を行う。	学校教育課
	KPI	さってアフタースクール参加人数	—	累計10,000人	11,503人 (累計49,654人)	9,752人 (累計59,406人)	次年度の参加者確保に向けて、3学期から3年生を参加対象とした。1学期間という短い期間であるが、アフタースクールに触れる機会をもつことで、児童及び保護者の理解が深まり、次年度の参加児童数増への期待が高まった。	5	新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じ、実施する。保護者へのアフタースクール説明会を適切に実施し、参加への意欲を高めるようにする。	学校教育課

基本目標	数値目標・KPI		当初値	目標値	実績 (令和元年度)	実績 (令和2年度)	目標達成に向けて実施した内容 (令和2年度)	達成状況 (平成27年度 ～令和2年度)	今後の取組(問題点、課題を含む)	担当課
4 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する 地域と地域を連携する 地域と地域を連携する 地域と地域を連携する 地域と地域を連携する 地域と地域を連携する 地域と地域を連携する 地域と地域を連携する 地域と地域を連携する	目数 標値	幸手市に住みやすい と思う市民の割合	60.9% (平成24年 度)	70%	— (平成29年度 調査結果69.1%)	— (平成29年度 調査結果69.1%)	・令和2年度に第2期幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。策定にあたり幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第1期)による取組実績を検証し、第2期以降の取組の参考とした。	4	・第2期における課題を検証し、幸手市に住みやすいと思う人を増やす取組を継続的に実施していく。	政策課
	K P I	市の公共交通の満足 度	24.5% (平成24年 度)	30%	— (平成29年度 調査結果 6.6%)	— (平成29年度 調査結果 6.6%)	令和2年3月に実施した公共交通再検討のためのアンケート結果を参考に、次期公共交通について検討し、公共交通会議等で次期公共交通について協議を行い、市内循環バスの運行を決定した。さらに市内循環バスの運行内容について、多くの方が利用できるよう路線の設定及び運賃など基本となる事項についての決定を行った。 また、デマンド交通については令和3年12月まで運行を行う。	1	デマンド交通の令和3年3月末の利用者登録数は4,408人であり、主な利用目的は病院・老人福祉施設・有料老人ホームである。特に病院の利用が多く利用時間帯が重なることから予約が取れない状況があり、また市域が広く乗合効率が悪い状況がある。 今後は、令和4年1月から運行する予約の必要がなく、多くの方が利用できる市内循環バスで市民の日常生活を支えていく。そのために、公共交通事業者及び商工事業者などと連携を図るとともに、乗り換え案内など利用方法の周知を行うことで、利用促進を図る。	市民協働課 (効果検証 :政策課)
	K P I	都市計画道路整備率	58.3%	79%	62.4%	64.8%	都市計画道路幸手五霞線の県境の橋梁(令和橋)を含む未整備区間約1kmを整備し、本路線の整備が完了した。	4	・杉戸幸手栗橋線(県道幸手久喜線～さいたま幸手線区間)の早期整備 ・西口停車場線の整備 ・惣新田幸手線バイパスの未整備区間の整備	都市計画課
	K P I	とねっとの登録者数	2,326人	4,000人	4,002人 (R2.3.31現在)	4,153人 (R3.3.31現在)	・市ホームページ・広報紙等で随時普及啓発を図るほか、健康増進課窓口や出前講座などの機会を通じて登録者数の増加に努めた。	5	・引き続き事業を推進し、普及啓発を図る。 ・国のデータヘルス関連施策を注視していく必要がある。	健康増進課
	K P I	生きがいがあると思う 高齢者の割合	84.1%	90%	61.4%	— (令和元年度 調査結果 61.4%)	・地域包括ケアシステム構築のための地域支援事業の実施 ・介護予防事業の実施 ・介護予防サポーター養成講座の実施 ・シルバー人材センターへの補助	3	・引き続き、住民主体の活動の支援や、高齢者自らが活動の主体となるための介護予防事業及び生きがいづくりの充実を図る。	介護福祉課
	K P I	自主防災組織の組織 率	55%	65%	62%	63%	・新規組織設立に向けた啓発、個別説明の実施。	4	・地域の高齢化等により、組織の設立がなかなか進まない。	危機管理防災課
	K P I	全避難所への授乳テ ントの備蓄	—	27箇所	27箇所	27箇所	・全避難所に授乳テントを備蓄した。	5	・事業完了	危機管理防災課
	K P I	防災訓練の参加者数	648人	累計2,500人	R1実績0人 (累計1,184人)	R2実績0人 (累計1,184人)	・幸手小学校を会場として防災訓練を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった。	2	・地域の防災体制の強化のため、今後も地区や小中学校、各種団体等に呼びかけ、地域参加型の訓練を実施していく。	危機管理防災課
	K P I	公共施設等総合管理 計画の策定	—	策定 (平成28年 度)	策定済 (平成28年度)	策定済 (平成28年度)	・平成28年度に幸手市公共施設等総合管理計画を策定した。 ・幸手市公共施設等総合管理計画を踏まえ、令和2年度に幸手市公共施設個別施設計画を策定した。	5	・幸手市公共施設個別施設計画に基づき各施設を管理していくことと併せ、PDCAを継続的に実施していく中で、適宜計画の見直しも行っていく。	政策課